



～チャイルドの経営コンサルタント監修による～

# 選ばれる園になるためのメルマガ

株式会社 幼保経営サービス・コンサルティング部



## 送迎用バスの置き去り防止を支援する安全装置の設置について

(株)幼保経営サービス コンサルティング部では、法人・園の経営・運営の悩み事に対応しています。チャイルドグループの各事業部のノウハウを Q&A 形式でお届けします。

### Q 新たな機器を導入する際のポイントはありますか。

近年、園のICT化や設置義務化により取り付けなければいけないシステム・装置などに現場で対応しなければなりません。限られた職員数の中で、日常の保育もこなしつつ、新たな装置を導入する時に、気を付けなければいけないのはどのような点でしょうか。

#### 安全対策を!



### A 園の園バス運行の実情を踏まえながら選択することが大切です。

園バスへの安全装置の義務化については、厚労省・文科省・内閣府より10月12日付で通知された「こどものバス送迎・安全徹底プラン」で、2023年4月より施行予定で、1年間経過措置を設ける予定である一方、夏前の6月末までの早期の導入が推奨されることが示されています。

園バスの安全装置にも種類があります。エンジン停止後ブザーがなり、見回りながら後部のブザーを止める方式。車内センサーが人の動きや振動を検知しアラームで知らせる方式。アラーム時に通報メールを送る方式などがあります。



人感センサーの方式自体にも種別があります。どの方式・装置が良く、どれが悪いというのではなく、現在の園の園バスの運行状況や体制、安全対策も含めて検討することが必要です。

コンピュータ(CP)部では、今の園の先生方に必要な安全管理の仕組みやサービスは何かを考え、社内にセンサーをつける安全装置に加えて、取付工事や機材の保守管理、日々の乗車・降車確認シート、独自の運行マニュアル案をセットにした安全対策用品を販売しております。

技術が発達しても、園の保育・業務を最終的に実行するのは人・保育者であるということを忘れてはいけません。園の内外のICT化を顔の見える人間同士の関わりを大切にしながら実行していくためには園に寄り添うパートナーが必要です。園のICT化やデジタル機器でお困りの際は、最寄りのCP部営業社員をご活用ください。

## 事業部紹介

### 株式会社チャイルド社 コンピュータ部

全国20の営業所を拠点に、園のパソコン・インターネット環境の整備、業務管理ソフトやICT化の導入・サポートを行っています。

【営業所】 札幌、盛岡、仙台、水戸、さいたま、東京、京葉、神奈川、北関東、新潟、金沢、中部、関西、京都、広島、四国、九州、中九州、南九州、沖縄



コンサルティング部 ディレクター 柴田 洋平 (弁護士・保育士)

TEL 03-6915-1910 Email yohokeiei\_consulting@child.co.jp

HP <https://www.ans.co.jp/youho/consult.html>

